

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年 月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社湘南神奈交バス	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス (通称:中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント121箇所)と町外5箇所を対象としたデマンド型交通システム(区間運行型)</p>	<p>公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、平成25年1月10日から実証運行している中井町オンデマンドバスについて、地域の需要を見極め、より必要とする利用者のための運行体制の見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を重ね、持続可能な地域公共交通システムとなるよう見直しを行っていく計画となっている。</p>	<p>A</p> <p>乗降ポイントの設置や運行時間帯の拡充を行った平成27年3月の運行内容の見直しの効果を見極めつつ、お試し回数券の配布による未利用者への利用喚起を行うとともに、未利用者などへ公共交通の利用に関する意識調査アンケートを実施するなど、利用者の拡大とニーズに基づいた事業の実施体制の構築を図っており、計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>平成28年度(平成28年9月末現在)の利用者数は、40.5人/日と、横ばい状況であるが、事業は着実に定着してきており、当初目標とした35人/日以上を上回っている。</p> <p>平成28年度(平成28年9月末現在)の登録者数は、2,760人で、平成28年度の目標とした2,800人を、わずかに下回った。</p>	<p>利用者は徐々に増加しているが、新規登録の利用が鈍化していることから、引き続き利用方法の周知などPR活動を継続的に行なう。また、予約数増加に伴う予約不調等の課題を改善するため、運行回数の増加や定期定路線バスへの乗継促進など、公共交通をより必要とする町民のニーズに合わせた運行体制への見直しや利用状況の検証を行いながら、近隣自治体等関連機関や連携を模索しつつ、運行計画の検討を進める。</p>

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。